

一棟築建坪二百五十二坪七合五勺ヲニ万円ニテ買受當時保証  
金トシテ金七千円ヲ納メ、然レテ金八五月十日迄ニ支払フコト  
ヲ條件トシテ買取(未登記)ノ約五千円位ノ造作ヲ為シ、倉社  
並ニ工場ヲ整備シ、移転及対社員ノ運動ヲ排除シ、社家屋及地  
上权等ヲ中島甚告ニ譲渡シ、七月一日実領的一移転ヲ完了セリ  
倉社移転ニ伴ヒ前記中島ノ支出セシ總金額凡ソ九万五千円  
ニ及ハリ

6. 移転後倉社ハ中央ニ大若新聞社等ニ於テ新聞紙ヲ朝報ヲ約  
三四千部ヲ依頼シ、印刷券行セルカ、倉社移転後タル券行人ニ  
是健寿及其一派ハ三宅カ法律上ノ券行人ナルヲ奇貨トシテ  
同一番号題名ノ新聞紙ヲ券行セル為メ、長谷川社長ハ狼狽  
持主タル京橋区靈岸町ヲ三橋木喜三郎ニ借用ノ保証金二千  
円ヲ返却シ、八月十日自ラ券行券印刷人ノ手續ヲ完了セリ  
又八月十六日附工場設置額ヲ所轄富坂警察署ヲ經由シテ保

安部工場課ニ申請セルカ、審査ノ結果各地域ハ住宅地域ニシ  
テ稼働力ニ馬力以上ヲ有スル工場ノ設置ヲ認メ難ク、然レニ  
本申請ハ五馬力ニシテ当然不許可ノ運命ニアリ、幸意のニ長  
谷川社長ヲ招致シ、其ノ旨内示セルニ、社長ハ寧ロ之ヲ予期  
居リタルモノ、如何不許可知分ニ依リ工場ヲ閉鎖スルヤニ  
認メラレ一獲論示ノ上、九月十六日附之カ取下ヲ為シタリ  
又長谷川社長ハ移転直後ヨリ既ニ工場閉鎖ノ意思ヲ有シ、諸般  
ノ準備ヲ為シ来リタルモノ、如何本年七月以來工場諸番機  
ヲ担保トシテ京橋区築地三ノ一工場經營者葛谷喜一ヨリ、數  
次ニ涉リ金融セルカ、八月十六日轉帳機ニ台製液器一台、磁器  
解産一何、金庫一何、其他一切ノ什器ヲ金三千円ニテ賣却シ、全日  
金二千一百円ヲ収受セリ

然レニ工場内ニハ従業員石塚正三(組合員)外四名(非組合員)  
寄居シ、為メニ之レカ行渡シ、容易ナラス、其時様ヲ窺知シ居リ